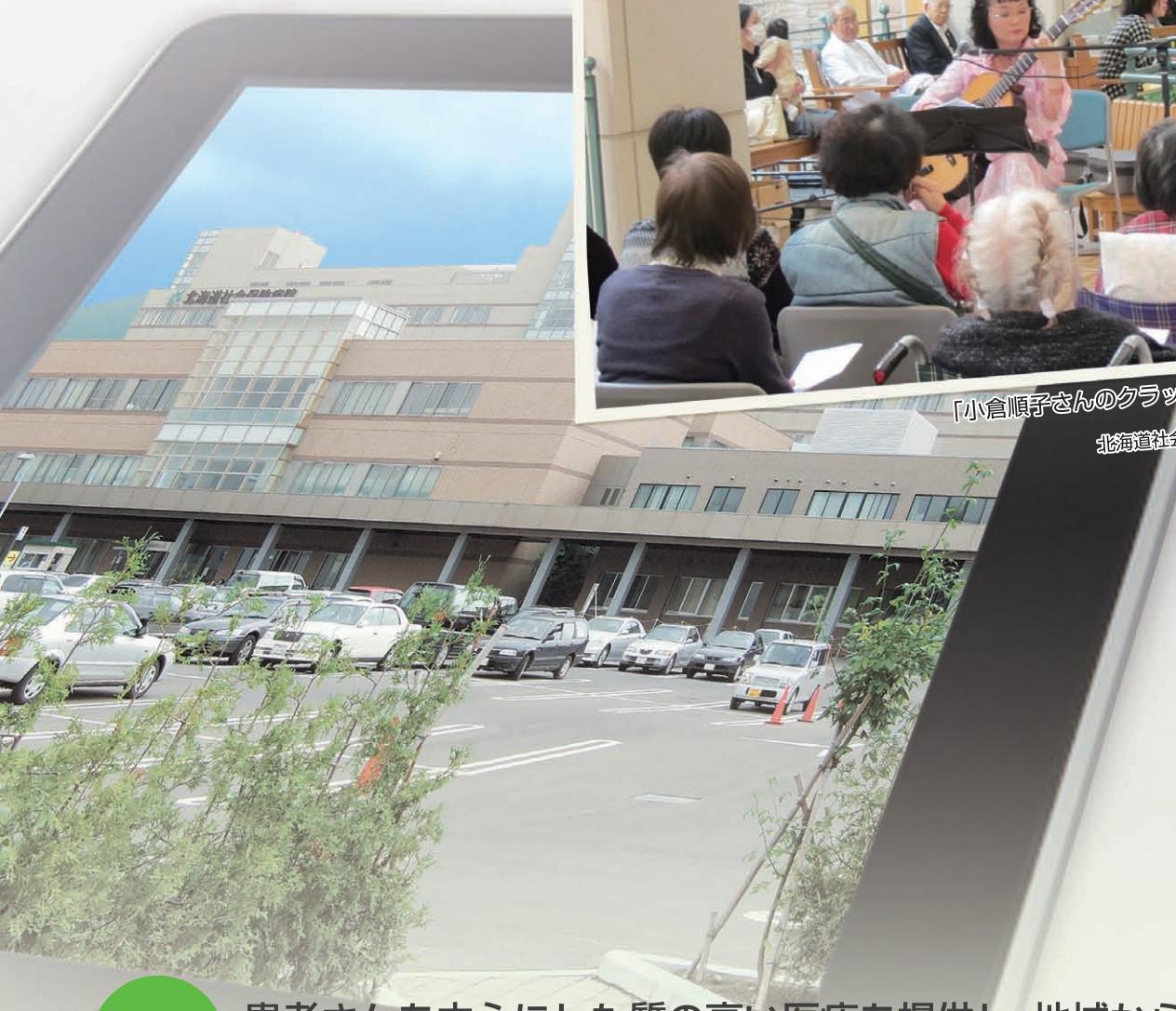


豊平河畔 だより

北海道社会保険病院



「小倉順子さんのクラシックギターと弾き語り」
平成25年3月27日(水)開催
北海道社会保険病院内グリーンモールにて

病院理念

患者さんを中心とした質の高い医療を提供し、地域から信頼される病院を目指します。

基本方針

- 1.患者さんの権利を尊重し、人間愛を基調とした医療に努めます。
- 2.安全で安心できる医療に努めます。
- 3.説明と同意を基本とする医療に努めます。
- 4.地域の医療・福祉施設との連携を推進します。
- 5.地域の健康増進を目指し、保健予防活動を推進します。



新任医師のご紹介



Affiliation 産婦人科

Name 小田 泰也

私は昨年の10月から北海道大学病院に半年間異動となっていましたが、4月より再び当病院で勤務することとなりました。

当病院の産婦人科は地域周産期母子医療センターの一翼を担う「産科」として周知されつつありますが、女性のライフサイクルの全般を診てあります。月経関連の不調、不妊の相談、更年期症状、婦人科健診など、遠慮なさらずにご相談ください。



Affiliation 心臓血管外科

Name 杉木 孝司

4月より心臓血管外科に勤務している杉木孝司です。専門は成人心大血管疾患です。

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療については指導医の資格を持っているので、今後当院でも本治療を取り入れていきたいと思っています。この治療により、腹部大動脈瘤に対して開腹手術に比較して低侵襲な治療を行う事ができます。動脈瘤の形状によってはできない場合もあるのでご相談ください。



Affiliation 糖尿病・内分泌内科

Name 星野 拓磨

はじめまして。糖尿病・内分泌内科の星野 拓磨です。出身高校は北嶺高校、出身大学は日本大学です。現在は医師として8年目でこれまで札幌厚生病院、札幌北楡病院で消化器内科として勤務しておりました。

以前から糖尿病・内分泌にも興味があり、将来的には糖尿病と消化器を専門とした総合内科医になりたいと考えております。糖尿病は全身疾患でありますから症状がわかりにくく治療も長期にわたります。長い治療の間、その分皆さんとできるだけお話しをさせていただきできるだけ皆さんの目線で治療にあたりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



Affiliation 心臓内科

Name 高畠 昌弘

はじめまして、この度4月より北海道社会保険病院心臓内科へ赴任いたしました高畠と申します。

私は今年の3月まで関西の和歌山県にて循環器内科医として診療を行ってきました。4月より初めて暮らす北海道での循環器医療に尽力し、道民の方々に貢献できたらと考えております。慣れない土地ではございますが、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



Affiliation 外科

Name 脇坂 和貴

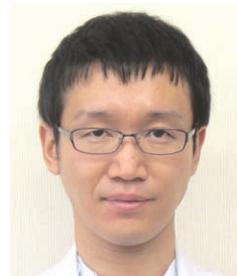
このたび外科で勤務させて頂くことになりました
脇坂 和貴と申します。
2010年に北海道大学を卒業し、初期研修終了後、北大第一外科に入局して現在医師4年目となります。まだまだ知識も技術も未熟な私ですが、皆様の、そして患者さんのお役に立てるように日々全力を尽くしたいと考えております。
よろしくお願いいたします。



Affiliation 皮膚科

Name 志貴 美麗

はじめまして。
4月より皮膚科で勤務させていただいております、志貴 美麗と申します。
秋田大学出身で、これまで大学病院を中心に診療してきました。まだ勉強することばかりで、皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、精一杯対処させて頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。



Affiliation 呼吸器内科

Name 郷 俊寛

はじめまして。
この度北海道社会保険病院の呼吸器内科に赴任しました郷 俊寛と申します。
北海道大学第一内科に所属しています。呼吸器症状のひとつである咳症状は多くの方がお悩みになり、同時に多くの原因がございます。症状を取り除き、皆様の生活の質の向上の一助となれば幸いです。
よろしくお願いします。



Affiliation 小児科

Name 鎌田 晃嘉

はじめまして。
このたび4月より小児科で勤務させていたくことになった鎌田 晃嘉と申します。
出身は札幌北高校、薬剤師として札幌厚生病院で勤務していた縁もあり、2011年愛媛大学医学部を卒業後は札幌厚生病院で2年間初期研修を行い現在に至ります。
忙しい1年になりそうですが全力で頑張りたいと思います。至らない点も多いとは思いますがどうぞ宜しくお願いいたします。

column
08

緩和ケアチームの紹介

緩和ケアチーム専従
がん性疼痛看護認定看護師 兼子美穂



北海道社会保険病院では、平成25年4月より緩和ケアチームが設置されました。現在は入院されているがん患者さんを中心に活動しています。今回は、緩和ケアチームについてご紹介いたします。

～緩和ケアとは～

WHO(世界保健機関)では、「緩和ケアとは、生命を脅かす疾患に伴う問題に直面する患者と家族に対し、疼痛や身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期から的確にアセスメントし解決することにより、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質(QOL)を向上させるためのアプローチである」と定義付けています。

これまで緩和ケアは、積極的治療が出来なくなってから行うイメージが根強くありましたが、今は病気の進行度や余命とは関係なく、疾患の早期から介入していく必要があるといわれています。特にがん治療の経過中には、術後痛、がん自体の痛み、治療の副作用、不安や不眠、せん妄などの精神症状もみられることがあります。それによって食事が摂れない、眠れない、動けないなど生活の障害にもつながり、ひいてはがんの治療にも支障をきたします。がんの治療と並行して苦痛を和らげる治療やケアを行うことで、がん治療の効果も上がるといわれています。

～当院の緩和ケアチーム～

がん患者さんが抱える苦痛には、身体症状だけではなく、心の苦痛や苦悩、経済的不安などが複雑に絡み合うことから、チームアプローチが重要となってきます。

当院の緩和ケアチームは、身体症状担当医師、精神症状担当医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、理学療法士、管理栄養士、事務員などで構成されています。がん患者さんやご家族の苦痛に対し、毎週1回カンファレンスで検討し、提案を持って患者さんを訪ねたり、主治医と連携をとりながらチームで解決策を相談していきます。私達は多くの患者さんやご家族が「万全な状態でがんの治療に立ち向かい、その人らしい生活を送ることができる」ことを願いながら日々活動しております。

～北海道がん診療連携指定病院について～

現在道内では、厚生労働省より1病院が「都道府県がん診療連携拠点病院」、20病院が「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けています。しかし、空白の医療圏が存在すること、既整備圏域を含めた在宅がん医療や緩和ケア、相談支援など一層の充実が課題となることから、北海道は平成25年度より独自の要件を定め「北海道がん診療連携指定病院」の指定を開始しております。当院は、平成25年4月より北海道がん診療連携指定病院に指定されました。今後も患者さんやご家族の支援に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

緩和ケアのご案内

当院では入院患者さんに対して、緩和ケアチームによる緩和ケアの提供を行っています。

緩和ケアチームの活動

患者さんやご家族が、がんに伴う痛みやつらい身体症状、不安、生活上の心配事などを少しでも軽減し、治療に取り組み、日々の生活を過ごせることを目的とし、専門のスタッフが支援します。

ご希望の方は、主治医または担当看護師にご相談ください。

北海道社会保険病院 緩和ケアチーム

緩和ケアポスター

健康教室のご案内

当病院では、健康への正しい知識を深める機会として、毎月2週にわたって健康教室を開催しております。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等が分かりやすくお話しします。
どなたでも無料でご参加いただけます。



場所 外来棟1階ホスピタルモール
(エスカレーター裏側)

時間 11:30~12:00

予約 予約はいりません。
どなたでも無料でご参加いただけます

※開催日など詳しくは、ホームページやチラシをご覧ください。

外来の待合場所が会場です

整形外科

中央
処置室

会計窓口

会場はこちら

正面玄関

エスカレーター

再来
受付機

✿ 健康教室から放射線技師のお話です✿

健康教室「骨密度測定 (骨塩定量検査)について」

診療放射線技師 大野 翔

近年、骨粗鬆症による骨折への関心が高まっていますが、骨粗鬆症の患者は国内で1000万人と推定されていますが、実際に治療を受けているのは200万人に過ぎません。今回は骨密度測定の必要性についてお話をします。

①骨代謝と骨量減少

骨には、古くなった骨を溶かし吸収する細胞と新しい骨を作り修復してゆく細胞があり、骨の形成を行い骨代謝を常に行なっています。この骨代謝の吸収と形成のバランスが崩れ、吸収の働きが増強し、骨が多く溶けると骨量減少につながります。体の成長が止まると、骨の長さも太さも一定になり、変化していないように見えるかもしれません。しかし実際には、骨の組織は常に生まれ変わっています。

②骨粗鬆症

骨粗鬆症の「鬆」という字は、大根や西瓜などにできる「ス」を意味します。つまり、骨粗鬆症は、本来大変緻密な骨の組織に「ス」が入ったようにスカスカになり、骨密度が低下して骨がもろくなつた状態をいいます。

③骨粗鬆症になりやすい人

喫煙・飲酒をする人、あまり日光に当たらない人、閉経後の女性、運動をあまりしない人、コンピュータやゲームなどで戸外にあまり出ない人、ステロイドなどの薬物投与を受けている人、遺伝的に「骨粗鬆症」家系の人、カルシウム不足の人、内分泌異常のある人、やせた人、慢性疾患で体が弱っている人、骨に体重をかけることが少なくなった人など。なお、冬になると戸外に出ることが少ない北海道の方は、骨粗鬆症になりやすいと言われています。

④骨密度測定方法

当院では日本骨粗鬆症学会等にて報告されたガイドラインにそって椎体と大腿骨の両者を測定いたします。DEXA法という方法で、二種類の異なるエネルギーのX線を用いることによって、筋肉や脂肪などに關係なく骨の成分だけを測定します。検査時間は5~7分程度です。

⑤骨密度測定結果

若年成人(22~44歳)の骨密度の平均値(YAM値)を100%として比較しております。

⑥カルシウムの摂取と運動

骨形成に欠かせないのがカルシウムですが、併せて摂取すべきはビタミンDです。外に出て日に当たることでも皮膚からビタミンDを生成できます。適度な日光浴も大切です。骨密度の維持には、運動による骨への刺激が大切です。骨への刺激は、カルシウムの骨への取り込みを促します。

⑦骨折を避けるための工夫

骨折を避けるための工夫として、家庭内で階段、浴室、玄関、居間など転倒しそうな場所をチェックし、手すりなどを設置して転倒を防ぐことが大切です。最近では転んでも衝撃を吸収するクッション入りのパンツなどもあります。

⑧骨密度に関するご相談

骨密度が低いことを知ることにより、骨折しない様に注意をして生活をし、生活習慣の改善や薬で骨量減少を抑えることができます。気になる点がございましたら当院、整形外科医師又は糖尿病・内分泌内科医師にご相談ください。

地域連携相談室

ソーシャルワーカー 佐藤 奈津子

地域連携相談室は、病院の窓口部署として、日頃より地域医療機関の皆様のお世話になっております。地域連携相談室は、室長(看護師)以下、事務職4名、看護師2名、ソーシャルワーカー4名がおります。地域医療機関より、受診、入院などの予約を承る「前方連携業務」と、患者さん・ご家族から療養上の相談を承る「相談業務」が主な仕事です。昨年4月より窓口を設け、広く患者さんの相談に対応しております。ここでは、「相談業務」について紹介させていただきます。

当病院では、相談が必要な患者さんを発見するために、入院患者さんには「退院支援スクリーニング」を、外来患者さんには「外来支援スクリーニング」を運用しています。

「退院支援スクリーニング」は、入院から48時間以内に、病棟看護師が、入院患者さん全員を対象に、「入院前に比べADLが低下している」「社会的役割遂行に支障をきたす」「退院後の生活に不安がある」などの有無を確認する仕組みです。患者さんの情報は、速やかに地域連携相談室へ連絡が入り、相談担当者が決まります。患者さん・ご家族から自主的なご相談がなくても、相談担当者よりお声をかけ、心配事をお持ちではないか、介護認定が必要ではないかなど、入院早期から相談を始められるよう心がけています。

「外来支援スクリーニング」は、短い診察時間内ではありますが、外来看護師が、「物忘れが見られるようになった」「最近ご家族だけが薬を取りに来院する」などに該当する患者さんを拾い上げる仕組みです。入院同様、相談担当者から積極的にお声をかけ、在宅生活でお困り事がないかお話しを伺っています。

相談担当者には、看護師とソーシャルワーカーの2職種が配置されています。医療系サービス(訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ)を利用している患者さんは看護師が、それ以外の患者さんはソーシャルワーカーが担当しています。2職種が配置されている強みを活かし、医療と福祉の両側面から、総合的に患者さんを支援できるよう心がけています。

また、看護師は、当病院から訪問看護の指示を出している患者さんに関して、訪問看護ステーションとのパイプ役を担っています。訪問看護導入の可否、訪問看護指示書の発行、訪問看護報告書の受け取り、病状変化の相談の際に対応させていただいている。

地域包括ケアの言葉を目にすることがますます増えてきました。地域の皆様の支えにより、患者さんが安心して生活を続けられるよう、より良い連携に向け努力して参りますので、これからもどうぞ宜しくお願ひいたします。



症例検討会のお知らせ

北海道社会保険病院では、地域の先生方との研修・交流の場として症例検討を中心とした勉強会を開催しています。

札幌南部呼吸器懇話会

第34回

日 時: 平成25年6月18日(火) 18:30~
場 所: 北海道社会保険病院 3階講堂

豊平・清田・南区循環器懇話会

第22回

日 時: 平成25年6月25日(火) 19:00~
場 所: 北海道社会保険病院 3階講堂

リバーサイド消化器懇話会

第34回

日 時: 平成25年7月23日(火) 18:20~
場 所: 北海道社会保険病院 3階講堂

詳細は地域連携相談室まで
お問い合わせください。

症例検討会を実施しました

第33回

札幌南部呼吸器懇話会

日 時: 平成25年2月21日(木) 18:30~
場 所: 北海道社会保険病院 3階講堂
参加者: 院外13名 院内22名
講 演: 「咳と喘息の最近の話題」
医大前南4条内科 田中 裕士先生



第33回

リバーサイド消化器懇話会

日 時: 平成25年3月12日(火) 18:20~
場 所: 北海道社会保険病院 3階講堂
参加者: 院外15名 院内36名
講 演: 「C型肝炎治療の将来展望」
北海道大学 消化器内科学教授 坂本 直哉先生



災害救急指定日

**平成25年5月12日(日)・5月27日(月)・6月6日(木)・6月23日(日)
7月9日(火)・7月28日(日)**

二次救急指定日

循環器・呼吸器系

平成25年5月22日(水)・6月14日(金)・7月2日(火)
7月20日(土)



消化器系

平成25年5月16日(木)・6月1日(土)・6月28日(金)
7月24日(水)

小児系

平成25年5月10日(金)・6月2日(日)・6月12日(水)
7月10日(水)・7月27日(土)

変更になる場合がございます。当日の新聞等で確認をお願いいたします。